

すなお

令和4年11月号

発行所 天理教瀬戸路分教会

〒794-0007 今治市近見町4-5-10

URL <https://www.tenrikyo-setoji.net/>

☎ 0898-23-5004 責任者 二宮英治

発行日 2022.11.16 通巻 No.748



会 長

今月は久しぶりに宇和島方面に講社祭とおたすけに行かせていただきました。先月は3度松山方面への講社祭に行かせてもらったので、その経験から（きっと大丈夫!）と思いながら行きました。道中、身体を横にして腰の負担を軽減しながらでしたが、宇和島まで来たことに感慨深いものがありました。また、出会う皆さんの温かい言葉にも嬉しさを感じ、これからもこの身をもって出来ることを精一杯させてもらいたいと思いました。

人はいつの間にやら損得勘定をしてしまう。仕事上、友人、親戚とかさまざまなか付き合いの中で（あの人にはこれだけしてもらったから、これだけはしておかないと、、、）そんな場面もあると思います。その時々にしてもらった事を深く感じるか浅く感じるかによって、その後の対応が変わってくるものです。

以前、ある方から「『心ばかりの物ですが、、、』と他人にプレゼントすることがあるでしょう。言葉は心ばかりと言いつつ何だか本当はもっともっと大きな思いがあるように言っているが、物にかけた金額がその人の心全てです」と聞いたことがあります。表現がいくら上手であっても物の価値は大きくも小さくもならないということでしょう。

そして、人の恩よりももっともっと大きな恩は親神様からいただく、日々の御守護に対する御恩です。この御恩をどれだけ深く感じられるか。そして、言葉だけでなくこれを行動に表すことが信仰活動でしょう。私は今回のケガを通して一段と御恩を深く感じる事が出来ました。それでも日を重ね痛みと共にその思いも薄くなってしまふことがよくあることです。そうならないように繰り返し繰り返し喜び心を積み重ねていきたいと思ひます。

お互いに人様の恩、そして親神様の御恩を忘れないよう報恩感謝を姿に現した日々を通らせてもらいましょう。

教祖と信人やからなあ

稲村 信人

みなさんご無沙汰しています。佐々木信人改め稲村信人です。去る9月25日、おぢばにおいて神川大教会所属の聖鳥分教会の四代会長のお許しを頂戴いたしました。

この場をお借りして今の心境を書きたいと思ひます。ここまで来るうえで僕を何度も救ってくれている言葉があります。それは、高校進学と同時に始まったおぢばでの生活。当時はわけのわからない中をわかったような顔をして進んでいたように思ひます。

そして休みになり今治に帰れば親会長さんに呼ばれ、参拝場の前の方に、向かい合わせに座る。何か言って下されるのかなと待っていても何も言われず、（次ページへ）

気付けばこちらが大粒のあふれんばかりの涙が出てきては止まらなくなり泣き崩れるまでにそんなに時間はいらなかった。無茶苦茶になっていた私の中の私に「ありがとうなあ、忘れたらあかんで。教祖と信人やからなあ」と。僕の目指す会長像です。何をおいても教祖と自分。今も聞こえるこの声を頼りにつとめたいと思います。



大難を小難に

椿 信代

先日会社の店舗へお手伝いに出向したときの話です。店舗に到着し、さあいよいよ作業始めるぞという時に、地下の機械室の水道管が破裂してまるで滝のような水漏れが発生しました。水道管自体のバルブを閉めたものの水漏れは全く止まりません。大量の水でみるみる間に床は浸水していくため土嚢を置き、沢山のバケツを使って全員でトイレに水を運ぶバケツリレーを行いました。こんなときは火事場のなんとやらです。全員びしょ濡れになりながらも必死に水を運び、業者が到着してなんとか館内の元栓を閉めることで水が止まりました。

元々予定していた作業どころではない大事件が起き、皆へとへとになりました。ですがその時ふと思いました。今日はたまたまお店の休館日で、しかもちょうどヘルプスタッフが沢山来ている時でした。もし普通にお店を開けている時や店舗スタッフしかいない日だったら……もっと大惨事になっていたかもしれません。

「大変だったけど今日で良かったですね」とふと口にしたところ、周囲の人たちもその偶然に感謝するかのようによく良かった～と一安心していました。きっと大難を小難にさせていただいたのだと思いました。ふとしたときにありがたいと思える心を大事にしていきたいと思います。

教会ニュース

会長就任報告

9月25日、神川大教会所属聖鳥分教会4代会長に稲村（佐々木）信人さんがお許しを頂かれ、10月30日に就任奉告祭をつとめられました。瀬戸路からは家族の皆さんが教会のある鳥取に行かれ参拝されました。今回、新会長さんより抱負を書いています。

初席報告

10月22日、松浦諒太郎さん、優花さんが初席を運ばれました。ようぼくへの第1歩です。

年祭報告

10月16日、松本シナヨさんの30年祭が教会祖霊殿において会長祭主のもとつとめられました。

11月6日、光宗筆雄さんの5年祭が自宅において会長祭主のもとつとめられました。